

# 編集室

\* 本号の小特集では、「宇宙通信新時代の幕開け」をお送りいたしました。少し前の話題となりますが、米国スペースX社の宇宙船が国際宇宙ステーション（ISS）とドッキングしたというニュースが報道されていました。筆者が子供の頃は宇宙船というと米国やソ連など一部の大国が打ち上げるものという感じでしたが、一民間企業の宇宙船がISSと接続するというニュースを聞いて隔世の感があります。

\* NASA や JAXA などの国家主導での宇宙開発事業を Old Space と呼ぶそうです。最近ではスペースX社に代表される民間主体の New Space による宇宙開発が急速に進展しています。民間の参入により、ロケットの打上げコストが劇的に低下しており、宇宙通信や衛星を活用した計測など利活用場面が広がっています。本小特集では、宇宙エレベータや5Gサービスとの連携など最近の宇宙通信の広がりを解説しています。興味深い記事を掲載しますので、是非御一読頂ければと思います。

\* さて、私事で恐縮ですが本会誌の編集に携わるようになって1年が経過しました。執筆時点では緊急事態宣言の期間がちょうど終了し、感染拡大にケアしながら元の生活を徐々に取り戻しつつあるという状況です。私も緊急事態宣言期間中は在宅で会社や学会の業務の対応をしていました。読者の皆様が本誌を読まれるころにはもう少し状況が落ち着いて、「アフターコロナ」の新たな時代に向けて進んでいるのではないかと思います。コロナ禍以降、数か月在宅勤務を続けてみて、人と人の遠隔のコミュニケーションやテレワークにおけるICT環境等にまだまだ課題があることを実感しました。本会誌でもアフターコロナの時代の安心安全な社会の実現に向けて、様々な社会的課題の解決に有益な情報を積極的に提供していきたいと思っておりますので引き続きよろしく申し上げます。

（編集特別幹事 宮村 崇）

## 複写される方へ

一般社団法人電子情報通信学会は、本誌に掲載された著作物の複写複製に関する権利を一般社団法人学術著作権協会に委託しております。複写複製を御希望の方は、一般社団法人学術著作権協会 (<https://www.jaacc.org>) が提供している複製利用許諾システムを通じて申請して下さい。

なお、複写以外の許諾（著作物の転載、翻訳等）に関しては、委託しておりませんので、直接本会へお問い合わせ下さい。

<問合せ先> 一般社団法人電子情報通信学会

TEL [03] 3433-6691 FAX [03] 3433-6659

著作物利用許諾申請：<https://www.ieice.org/jpn/copyright/tensai.html>

## Reprographic Reproduction outside Japan

Making a copy of this publication

The IEICE authorized Japan Academic Association For Copyright Clearance (JACC) to license our reproduction rights of copyrighted works. If you wish to obtain permission of these rights, please refer to the homepage of JACC (<https://www.jaacc.org/en/>) and confirm appropriate organizations to request permission.

Obtaining permission to quote, reproduce; translate, etc.

Please contact the copyright holder directly.

IEICE Secretariat Office,

E-mail: [permission@ieice.org](mailto:permission@ieice.org)

Permission request form: <https://db.ieice.org/chosaku/sinsei/index-e.php>